

# 2019 **会 告** No.10



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- 第85年会 開催案内  
「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集…………… 本号8ページ
- 第22回化学工学会学生発表会(東京大会・岡山大会)要項…………… 本号10ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会		9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	12/16～17(じばさんびる)	
◇学生発表会(東地区)		3/7(中央大学)
(西地区)		3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>10月 October</b>			
1	第25回実践化学工学講座(10/1～11/19の全11回)(大阪府)		7号15
1	第121回技術懇談会(東京都)		9号12
3～4	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(東京都)		8号8
5	第3回「しごとの常識」塾 ～基本編③ボトムアップ～(東京都)		
10	化学装置材料部会表面改質分科会公開講演(東京都)		9号12
10～11	入門触媒科学セミナー(大阪府)		7号15
11～12	第37回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(兵庫県)		9号13
16	2019年度第4回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	10月9日(水)	9号12
18	第26回句の技術・見学講演会「CO <sub>2</sub> フリー水素利用アンモニア合成の最前線と水素エネルギーの世界再先端研究施設の見学」(福島県)		8号12
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		5号6
24	第19回上席化学工学技士交流会(東京)(神奈川県)	10月17日(木)	9号11
24～25	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		8号8
25	第64回プロセス技術設計講演会・見学会(福島県)	10月15日(火)	本号12
25～26	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ!～明日の日本を私が創る～」東海セッション(愛知県)		6号8
30	先端技術を支える単位操作シリーズ「令和に生きる抽出技術～昭和・平成からの伝承～」(大阪府)		9号13
30	公開講演会「クライオ電子顕微鏡による生体分子立体構造解析の展開」(大阪府)		9号14
31	第1回企業幹部による熟議(東京都)		7号10
31～11/1	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(神奈川県)		6号9
31～11/1	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(東京都)		8号8
<b>11月 November</b>			
1～2	熱工学セミナー(兵庫県)		9号12
7	開発型企業の会 2019年度第3回技術交流会(東京都)	10月31日(木)	本号11
7～8	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(栃木県)		6号9
7～8	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	10月31日(木)	8号9
7～8	第2回東海若手合宿(三重県)	10月6日(日)	本号12

8	反応分離シンポジウム2019(兵庫県)	10月30日(水)	9号13
8	第8回 三重コロキウム「キャリア形成のための企業懇談会」(三重県)	10月31日(木)	本号13
9~10	第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(長野県)		7号14
14~15	粉体エンジニア早期養成講座【分級】(神奈川県)		6号9
14~15	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	10月21日(月)	9号14
15	第6回初歩からの化学工学数学演習講座「データ整理手法とディープラーニングの基礎」(愛知県)	11月8日(金)	本号13
20	セミナー「安全性と収益性を良質する次世代スマートプラント～+プロセス強化とIoT活用のスマート保安の観点から～(大阪府)		本号14
20~22	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		8号9
21	化学工学技士(基礎)・化学工学技士・上席化学工学技士の集い(東京都)	11月14日(木)	本号11
26~27	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		6号9
27~29	「P&IDの作り方」講座(東京都)		8号10
28~29	第25回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB25) 第14回反応装置・プロセスシンポジウム(大阪府)	11月15日(金) (事前参加締切)	7号12
29	2019年度セミナー「化学産業におけるナノ材料の社会実装への現状と将来展望」(広島県)	11月1日(金)	本号15
29~30	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ！～明日の日本を私が創る～」 東京セッション(東京都)		6号8
<b>12月 December</b>			
2	セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ～マイクロリアクター利用の実態～(大阪府)		本号14
2~3	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		8号10
3~4	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		6号9
3~4	第53回 化学工学の進歩講習会「最新情報技術活用によるプロセス産業スマート化ーAI, IoT, MI の基礎から最前線までー」(愛知県)	11月22日(金)	本号13
5~6	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		9号10
6	第27回静岡フォーラム・第52回研究交流セミナー 「持続可能社会に向けたCO <sub>2</sub> 削減の推進」(静岡県)	11月29日(金)	本号14
10	シンポジウム「5G及び次世代高周波無線通信で使用される材料・プロセス技術」(東京都)		本号12
12	開発型企業の会 2019年度第4回拡大技術交流会(東京都)	12月5日(木)	
16~17	化学工学会姫路大会2019講演(兵庫県)		8号12
<b>2020年1月 January</b>			
23~24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号10
27~29	「反応器の設計」講座(東京都)		9号10
28~29	第26回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム Mate2020 (神奈川県)		
30~31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
30~31	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号11
<b>2020年3月 March</b>			
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	12月6日(金)	本号10
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大会(岡山県)	12月6日(金)	本号10
15~17	化学工学会第85年会(大阪府)	申込締切 12月22日(日)	本号8
<b>2020年9月 September</b>			
24~26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

## ◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月17～19日	2019 CIESC Annual Meeting (Qingdao, Shandong Province)		
10月20～23日	IMPRES2019 (The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems) (石川県)		1号6
10月23～25日	KIChE Fall meeting (Daejeon Convention Center)		
11月8～9日	The 2019 TwIChE Annual meeting (東海大学, 台中)		
11月13～15日	2019年日台韓化学工学合同カンファレンス(JTK2019) (大分県)		本号16
12月7日	第32回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2019) (韓国大田市)		本号16

## ◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
第41回安全工学セミナー「危険現象講座」(東京都)	10月1～2日 (火～水)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
プラントエンジニアリング ASIA2019(バンコク(タイ))	10月2日～ 12月4日(水～水)	日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mra@jma.or.jp
第239回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(東京都)	10月10日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
第80回技術セミナー 「Q&A で学ぶ電子機器・部品の腐食評価と防食技術」 (東京都)	10月11日(金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jccor.or.jp
No.19-303 熱工学コンファレンス2019(愛知県)	10月12～13日 (土～日)	日本機械学会 熱工 学部門	052-735-7795 tedconf19@jsme.or.jp
第5回材料WEEK(京都府)	10月15～18日 (火～金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
19-335 講習会「脱炭素社会における火力発電の未来」 (神奈川県)	10月16日(水)	日本機械学会 動力 エネルギーシステム 部門	03-5360-3505 morimoto@jsme.or.jp https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php? action=kousyu_index&gyojino=19-335
環境・エネルギーシンポジウムシリーズ 環境・エネルギー新技術の展望「フェムトリアクターによる革新的化学合成法の可能性」(東京都)	10月16日(水)	産業技術総合研究 所	029-861-8271 akihiro-wakisaka@aist.go.jp
第67回レオロジー討論会(滋賀県)	10月16～18日 (水～金)	日本レオロジー学 会, 日本バイオレ オロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
粉体工業展大阪2019(大阪府)	10月16～18日 (水～金)	日本粉体工業技術 協会	03-5297-8855 info2019@powtex.com http://www.appie.or.jp
第36回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2019 (東京都)	10月16～18日 (水～金)	日本膜学会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第68回表面科学基礎講座(大阪府)	10月17～18日 (木～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
「化学の日/化学週間」記念ケミカルフォーラム2019 化学から未来を 化学の可能性(東京都)	10月23日(水)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861)

第60回高圧討論会(北海道)	10月23～25日 (水～金)	日本高圧力学会	070-5545-3188 (020-4665-8596) touronkai60@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/60forum/
2019年度水素・燃料電池材料研究会講座(東京都)	10月25日(金)	高分子学会 水素・燃料電池材料研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/
第31回高分子基礎物性研究会講座(東京都)	10月28～29日 (月～火)	高分子学会 高分子基礎物性研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=128
第40回日本熱物性シンポジウム(長崎県)	10月28～30日 (月～水)	日本熱物性学会	03-5734-2435 (03-5734-2435) jstp@op.titech.ac.jp http://jstp-symp.org/symp2019/
2019年日本表面真空学会学術講演会(茨城県)	10月28～30日 (月～水)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
第56回石炭科学会議(愛知県)	10月29～30日 (火～水)	日本エネルギー学会 石炭科学部会, コークス工学研究部会, 重質油部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan56happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/668/
第13回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム—科学技術都市から電磁波・マイクロ波利用の学術研究と産業応用を発信—(茨城県)	10月30日～ 11月1日(水～金)	日本電磁波エネルギー応用学会	sympo2019@jemea.org https://www.jemea.org/
酵素工学会第82回講演会(東京都)	11月1日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2019(愛知県)	11月1～3日 (金～日)	名古屋大学未来材料・システム研究所	052-581-3241 (052-581-5585) icmass2019@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
コロイドおよび界面化学討論会 第70回記念国際会議(沖縄県)	11月3～8日 (日～金)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	http://www.okinawacolloids.jp
第240回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(大阪府)	11月6日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
表面科学セミナー2019(実践編)(大阪府)	11月6～7日 (水～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/index.php
第62回自動制御連合講演会(北海道)	11月8～10日 (金～日)	日本機械学会	011-706-6408 (011-706-7889) kobay@eng.hokudai.ac.jp
講習会「静電気障害の実例と対策」～工場災害・粉体輸送問題・半導体障害の実例と対策, リスクマネジメント, 静電気基礎～(東京都)	11月12日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org
プラスチック成形加工学会 第27回秋季大会(香川県)	11月12～13日 (火～水)	プラスチック成形加工学会	089-927-9716 (089-927-9716) sympo2019@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
膜シンポジウム2019“融合へ”(大阪府)	11月12～13日 (火～水)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://maku-jp.org/

第41回安全工学セミナー「プラント安全講座」(東京都)	11月14～15日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第4回東日本カタリシスセミナー(宮城県)	11月14～15日 (木～金)	触媒学会 東日本支部	koichi.sato@aist.go.jp
第16回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会(大阪府)	11月14～15日 (木～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第15回微粒化セミナー(東京都)	11月15日(金)	日本エネルギー学会(幹事団体), 日本液体微粒化学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events2019@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/709/
実用表面分析セミナー2019(兵庫県)	11月18日(月)	日本表面真空学会 関西支部	072-653-8301 Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou22.html
第10回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(静岡県)	11月19～21日 (火～木)	日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門	daitsu@jsme.or.jp http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2019
第38回溶媒抽出討論会(佐賀県)	11月20～21日 (水～木)	日本溶媒抽出学会	0952-28-8669 (0952-28-8669) symposium@solventextraction.gr.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第19回破壊力学シンポジウム(福島県)	11月20～22日 (水～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第57回燃焼シンポジウム(北海道)	11月20～22日 (水～金)	日本燃焼学会	011-706-6385 http://www.combustionsociety.jp/sympo57/index.html
第41回ドライプロセス国際シンポジウム(広島県)	11月21～22日 (木～金)	第41回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2019@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2019/
第10回イオン液体討論会(大阪府)	11月21～22日 (木～金)	イオン液体研究会	10thmeeting@ilra.jp http://www.ilra.jp/
第28回ポリマー材料フォーラム(愛知県)	11月21～22日 (木～金)	高分子学会	03-5540-3770 (03-5540-3737) 28pmf@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/pmf.html
No.19-352 第23回リーダーを目指す技術者倫理セミナー(東京都)	11月23日(土)	日本機械学会	(03-5360-3508) ohashi@jsme.or.jp
EcoDesign2019 第11回環境調和型設計とインバースマニユファクチャリングに関する国際シンポジウム(神奈川県)	11月25～27日 (月～水)	エコデザイン学会 連合, 産業技術総合研究所	03-5841-6478 (03-5841-6478) ecodesign2019_secretariat@ecodenet.com http://ecodenet.com/ed2019/
第57回粉体に関する討論会(広島県)	11月25～27日 (月～水)	第57回粉体に関する討論会	powder@hiroshima-u.ac.jp https://home.hiroshima-u.ac.jp/powder/funtai57/index.html
エネルギー技術シンポジウム2019 エネルギー材料開発・エネルギーシステム評価のための先端計測技術(東京都)	11月27日(水)	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門, 創エネルギー研究部門	029-861-7247 (029-851-7523)
技術セミナー エネルギー貯槽技術の最新動向(東京都)	11月27日(水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpj.org http://www.hpj.org/event/

第33回数値流体力学シンポジウム(北海道)	11月27～29日 (水～金)	日本流体力学会	cf33-admin@eng.hokudai.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd33/
第71回白石記念講座「地震と鋼材－阪神・淡路大震災から25年を過ぎて－」(東京都)	11月28日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu8ne0d9y
第52回安全工学研究発表会(新潟県)	11月28～29日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://jsse.or.jp/
第46回炭素材料学会年会(岡山県)	11月28～30日 (木～土)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2019/index.html
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow (ICJWSF-2019)(香港)	12月1～5日 (日～木)	ICJWSF-2019 組織委員会	(852) 2358-7184 ((852) 2358-1543) icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk
第9回潜熱工学シンポジウム(茨城県)	12月2～3日 (月～火)	日本潜熱工学研究会	0294-38-5035 yanrong.li.mech@vc.ibaraki.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/9thLatentheatSympo/9thSym-index.html
第39回水素エネルギー協会大会(東京都)	12月2～3日 (月～火)	水素エネルギー協会	secretary@hess.jp http://www.hess.jp
第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日 (水～木)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第35回ゼオライト研究発表会(東京都)	12月5～6日 (木～金)	日本ゼオライト学会	046-841-3810 knishi@nda.ac.jp https://www.jza-online.org/
日本学術会議公開シンポジウム 「第5回理論応用力学シンポジウム」(東京都)	12月9日(月)	日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会	06-6879-7249 (06-6879-7249) kajisima@mech.eng.osaka-u.ac.jp
第33回分子シミュレーション討論会(愛知県)	12月9～11日 (月～水)	分子シミュレーション学会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj33/
第15回バイオマス科学会議(福島県)	12月11～12日 (水～木)	日本エネルギー学会 バイオマス学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) fukuda_jie1921@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/676
プラント運転の安全と高度化を考える講演会2019 (神奈川県)	12月13日(金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) tanaka@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/bukai_web_appli/sindex.html
進化を遂げる $\mu$ -TAS lab-on-a-chip organ-on-a-chip (神奈川県)	12月16～18日 (月～水)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) ed@newkast.or.jp https://www.kanagawa-iri.jp/human_res_devl/ed31_seminar_13/
第32回バイオエンジニアリング講演会(石川県)	12月20～21日 (金～土)	日本機械学会 バイオエンジニアリング部門	bioconf19-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf19-2/
第20回アジア微粒化会議および 第28回微粒化シンポジウム(山口県)	12月21～23日 (土～月)	日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan)・日本エネルギー学会・ILASS-Asia	http://www.ilass-japan.gr.jp/english/activity/ILASS-Asia2019/
第31回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2020年1月 16～17日(木～金)	高分子学会高分子ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resgl@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php

第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (東京都)	2020年1月27～ 28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com <a href="http://www.jsse.or.jp/">http://www.jsse.or.jp/</a>
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレンス (東京都)	2020年1月28～ 29日(火～水)	エネルギー・資源 学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org <a href="http://www.compsafe2020.org">http://www.compsafe2020.org</a>
第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム (ISPlasma2020) / 第13回プ ラズマナノ科学技術国際会議 (IC-PLANTS2020) (愛知県)	2020年3月 8～11日(日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>
2020環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	2020年12月15～ 20日(火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp <a href="https://pacificchem.org">https://pacificchem.org</a>

## 第85年会 開催案内

### 「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集

会 場：関西大学 千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)

会 期：2020年3月15日(日)～3月17日(火)

講演申込期間：2019年11月1日(金)～12月22日(日)23:59

大会Webサイトからの申込に限ります。

講演要旨原稿提出期間：2020年1月6日(月)～2月15日(土)23:59必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/85a/>

化学工学会第85年会は、2020年3月15日(日)～17日(火)の3日間、関西大学千里山キャンパスにおいて開催されます。今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。また講演要旨は、事前参加登録者(参加費支払済みの方)全員に、大会会期前に大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

#### 注意点

##### ○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

##### ○化学工学会資格(※)保有の有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

(※ 上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

##### ○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

#### 講演申込について

##### ○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

正会員(名誉会員を含む)

学生会員(ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)

教育会員

海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む)に属する社員)

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHE)、台湾化学工程学会(TwICHE)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHE)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

##### ○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2019年11月1日(金)から12月22日(日)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申し込み時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

##### ○申込時の注意事項

\* 講演申込期間以外は受理できません。

\* JISコードのない日本語文字は使用しないでください。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。

\* 講演申込一件分をひとつずつ送信してください。

\* 二重送信は絶対にしないで下さい。

\* 申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。

\* 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。

\* プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。

\* 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込み下さい。

\* 大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

##### ○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力して下さい。

##### ○一般研究発表

###### [1. 基礎物性]

平衡物性・輸送特性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

###### [2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

###### [3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

###### [4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

###### [5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

###### [6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適化手法、情報処理技術

###### [7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、



メディカル、生物情報、環境生物、食料・食品  
[8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

#### [9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

#### [10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーション設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人数・無人化問題、物質安全

#### [11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス（電池、めっき、等）、電子材料プロセス（半導体製造、電子回路製造、等）、微細加工技術（エッチング、薄膜形成、等）、高信頼性設計（高放熱、短絡現象、等）、インターコネクション技術（接着、接合、等）、環境持続可能技術

#### [12. 材料・界面]

界面制御、エマルジョン、機能的微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複雑分子集合体、機能化高分子素材、材料プロセスング、材料レオロジー

#### [13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO<sub>2</sub>問題、地球全体の炭素循環

#### [14. 広領域]

テクノロジーマネージメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

### 講演要旨原稿について

#### ○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2020年1月6日（月）から2月15日（土）23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出（アップロード）して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名（連名発表者全員）が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム（大会webサイト、講演要旨集、冊子）に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル（Microsoft Wordファイル）を掲載します。ご利用ください。

- 講演要旨原稿はA4縦書きで作成し、PDFファイルで提出（アップロード）して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚（1ページ）です。ただし、20分を超える講演は2枚（2ページ）です。
- 原稿1ページの書式は以下を基準とします。  
全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2352字、段間の間隔6mm  
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm  
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めて下さい。
- 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm（9文字分）、上マージンから21mm（4行分）を空白にしておいて下さい。
- 講演題目は、1行目の左マージンから31mm（9文字分）空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 研究者氏名を「（所属略称）（会員資格・保有している取得化学工学学会資格）氏名」の順に、3行

目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は（正）、学生会員は（学）、法人会員に属する社員は（法）、海外（正・連携・学生）会員は（海）、部会のみ会員（部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員）は（部）と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学学会資格は7）を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に\*印をつけて下さい。

（例）（関西大）○（正・技士）化工一郎\*・（学）大阪花子・千里太郎

- 発表者の保有している化学工学学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学修習士：修習、化学工学技士（基礎）：技基、化学工学技士：技士、上席化学工学技士：上技。  
（例）（正）、（正・技基）、（学・修習）、（法・上技）等
- 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 原稿の右下に脚注として\*印をつけ、6）で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

#### 〈PDFファイルに関する注意点〉

- ファイルサイズは1229kB以下にして下さい。
- セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出（アップロード）して下さい。
- PDFファイルの提出（アップロード）には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます（受理通知が再送されます）。
- 締切日までの間は、何回でも「提出（アップロード）」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

#### 〈講演要旨原稿提出時の注意事項〉

- \*締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演、依頼講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集（別売り）に掲載いたしません。
- \*締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

#### ○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学学会 電子図書館での事後公開について  
化学工学学会では、化学工学学会Webサイト（会員専用ページ）の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

### 発表方法（一般研究発表）について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載致します。必ずご確認ください。

### 特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨並びに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後6ヶ月以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト（<http://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>）をご確認ください。また、第85年会の講演要旨公表日は2020年3月2日（月）です。

### 危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

### 「産業セッション」

第80年会（2015年）より継続して開催している「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション、ポスターセッションから構成されます。今、産業界の関心事は何か、何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加ください。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。尚、発表テーマは公募していませんが、発表ご希望の方は産業セッション事務局までお問い合わせください。

### シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的かつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表ください。

なお、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

#### ○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です（追加料金不要）。

#### ○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

#### ○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

### 国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。

2019年11月頃より、ニューテックセッション(付設展示、カタログ展示)の募集を開始いたします。詳細は大会Webサイトに掲載予定です。

2019年11月頃より、プログラム集広告・大会Webバナー広告の募集を開始いたします。詳細は本誌11月号や大会Webサイトに掲載予定です。

化学工学会第85年会実行委員会  
E-mail: inquiry-85a@www3.scej.org

## 第22回化学工学会学生発表会(東京大会・岡山大)要項

第22回大会は、中央大学(東京都文京区)と岡山大学(岡山市)で開催致します。  
奮って発表及び参加下さいませようお願い申し上げます。  
昨年度の実施概要については、本号「本会の動き」をご参照下さい。

発表申込期限: 2019年12月6日(金)17:00  
要旨提出期限: 2020年2月7日(金)17:00  
事前参加登録期限: 2020年2月14日(金)17:00  
開催日: 2020年3月7日(土)

主催 公益社団法人化学工学会

共催 (A. 東京大会) 同人材育成センター、北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部  
(B. 岡山大) 同 中国四国支部、関西支部、九州支部、人材育成センター

趣旨 若者の理科への興味を引き出し伸ばし、有能な研究者あるいは技術者を育成するには、暗記に頼らず、若い年令から自然観察、実験、自前の考察をもとに他人と話し合う教育が必要です。高校生、高専生および大学生が、研究成果の発表と関連な討論を行うことにより、研究者あるいは技術者として堅実に成長する機会を提供することを目的とします。

日時・会場 2020年3月7日(土)9:30～  
(A. 東京大会) 於: 中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区)  
(B. 岡山大) 於: 岡山大学津島キャンパス(岡山県岡山市)

発表形式 (A. 東京大会)(B. 岡山大)ともに、口頭発表(PCプロジェクタ使用、詳細はホームページをご参照下さい。)ポスター発表はありません。

発表時間 (A. 東京大会)(B. 岡山大)ともに、12分(発表7分、討論4分、交代1分)

応募資格 原則発表者または連名者のうち少なくとも1名は化学工学会の会員であること。ただし、高校生の発表では発表者および連名者の会員有資格は問いません。なお、その他の発表でも発表会の趣旨に合致すると判断される場合には発表を認めますので、発表申込前にE-mailで各実行委員会に問い合わせ下さい。

発表者(登壇者) 大学生(1～4年生)、高専生(本科生、専攻科生)、高校生。

ただし、登壇予定者が当日都合により欠席の場合、連名者に代行していただきます。

内容 化学工学、エネルギー、資源・環境、生物、その他(物理化学、有機化学、無機化学、材料、計算化学、教育など)

特別講演 (A. 東京大会)「熱帯沿岸生態系修復への挑戦-マングローブ植林による二酸化炭素固定と国際交流-」

加藤 茂(成蹊大学非常勤講師・(一財)アグリジャパン顧問)

(B. 岡山大) 演題および講演者は、決まり次第ホームページに掲載

発表申込 発表地区別に、各大会ホームページからお申し込み下さい。発表会場は、原則として東海以东の方は東京大会、関西以西は岡山大にお願いいたします。なお、発表申込とは別に参加申込が必要となります。

発表申込締切 2019年12月6日(金)17:00まで(厳守願います。)

要旨 A4版2段組1枚(詳細はホームページ等をご参照下さい。)

要旨締切 2020年2月7日(金)17:00必着

参加予約 参加会場別に、各大会ホームページからお申し込み下さい。振込に関する詳細はホームページをご覧ください。振込は参加申込後、1週間以内をお願いします。

参加予約申込締切 2020年2月14日(金)17:00まで(交流会も含まれます。これを過ぎると当日参加料金となります。)

参加費 一般5,000円(当日6,000円)、大学生3,000円(当日4,000円)、高専生(4年生以降)2,000円(当日3,000円)、高校生および高専生(1～3年

生)無料、高校生引率者1,000円

発表者助成 高専生、高校生対象に、旅費の一部を助成する制度があります。条件、申込方法などの詳細は各大会ホームページをご覧ください。

表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対象となります。辞退する場合は発表申込時にお申し出下さい。

交流会会場及び参加費

(A. 東京大会) 中央大学後楽園キャンパス 食堂

(B. 岡山大) 岡山大学津島キャンパス 生協一般および高校生引率者2,000円(当日3,000円)、大学生および高専生(4年生以降)1,000円(当日1,500円)、高校生および高専生(1～3年生)無料

両大会ともアルコール類はご用意致しません。

問い合わせ・申込み先

(A. 東京大会) 第22回化学工学会学生発表会(東京大会)実行委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「学生発表会東京大会」係

E-mail: inquiry-stu22e@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu22e/>

(B. 岡山大) 第22回化学工学会学生発表会(岡山大)実行委員会

〒700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1

岡山大学工学部化学生命系学科粒子・流体プロセス工学研究室

E-mail: inquiry-stu22w@www3.scej.org

ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu22w/>

## 人材育成センター

### 化学工学技士(基礎)・ 化学工学技士・上席化学工学技士 の集いのご案内

主催 公益社団法人化学工学会 人材育成センター資格制度委員会

化学工学技士(基礎)、化学工学技士、上席化学工学技士を保有する方々、並びに、これから取得を目指す学生、社会人の皆様に対して、上席化学工学技士による活動報告と、2019年度に開始した化学工学技士を対象としたプレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」(「しごとの常識塾」及び「特別教室」)の概要紹介とその報告を行います。

さらに、特別講演では、各方面で活躍されているプロフェッショナルから資格取得者に対して激励のご講演をいただく予定です。

資格取得の有無に関わらず、興味のある方のご参加をお待ちしております。

また、個別の講演への質問はこの講演会の中でもできますが、その後開かれる交流会で講師の方々に直接お話しすることもできます。皆様、是非、交流会までご参加ください。

日時 2019年11月21日(木)15:00～19:30

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線著

荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
共立会館ビル5F

#### 内容

司会：資格制度委員会 副委員長，上席化学工学技士

横河ソリューションサービス(株)  
コンサルティング3部 部長 長澤英治

1. 資格制度委員会 委員長 挨拶(15:00～15:10)  
東北大学 超臨界溶媒工学研究センター 教授 猪股 宏
2. 上席化学工学技士の組織的な活動について(15:10～15:40)  
上席化学工学技士(出光興産(株)) 町田雅志氏
3. プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」～化学工学技士のキャリアアップの原理原則～(15:40～16:10)  
化学工学会名誉会員，資格制度委員会顧問 住友ベークライト(株)元取締役専務執行役員 伊藤眞一郎氏
4. 「しごとの常識塾」参加者による報告(16:10～16:40)  
化学工学技士(調整中)
5. 特別講演「演題未定」(16:50～17:50)  
(調整中)

6. 交流懇親会(18:00～19:30)

※講演順・時間割を多少変更する可能性もございます。また、申込が多数になった場合は、1～5の会場を近隣の会場に変更する場合がございます。なお、その場合でも交流会は化学工学会で開催する予定です。

対象 「上席化学工学技士」「化学工学技士」「化学工学技士(基礎)」資格を保有する方、並びに、本集いに関心のある方々。

募集定員 30名

申込締切 11月14日(木)

参加費 無料

参加申込 ブラウザーに直接下記URLを入力頂くか、化学工学会ホームページから「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、お申込みください。

URL：<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成センター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail：[qualification@attomark.scej.org](mailto:qualification@attomark.scej.org)

TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

## 産学官連携センター

### 2019年度 開発型企業の会 第3回技術交流会開催案内

主催 化学工学会 産学官連携センター 開発型企業の会

日時 2019年11月7日(木)15:00～19:00

受付 14:30～、講演会 15:00～17:00、懇親会 17:00～19:00

会場 東京工業大学大岡山キャンパス南1号館2階215会議室  
(目黒区大岡山2-12-1 東急目黒線、大井町線大岡山駅前)

#### プログラム

今年度も、開発型企業の事業戦略と技術展開に焦点を当てて、特集として技術講演会を開催していきます。今回は当会の各幹事会社・会員会社様の取り組みに関連して最新の海外事情の紹介も予定され、活発な討議が期待されます。

15:00～16:00 「インドビジネス情報」  
イーグル工業(株)執行役員EB事業統括室長 村上佳津宏氏

16:00～17:00 「欧州と亜細亜の相違点」  
月島機械(株)産業事業本部単体機器技術部長 本間友基氏

17:00～19:00 懇親会会場：東京工業大学食堂

参加費 5,000円(懇親会費用含む。領収書は当日用意致します。)

定員 40名

申込締切 10月31日(木)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、Tel/Fax、E-mail) 懇親会出席の有無をE-mailでお送りください。なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

申込先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局

E-mail：[kaihatsugata@scej.org](mailto:kaihatsugata@scej.org)

## 部 会 C T

### シンポジウム

#### 「5G及び次世代高周波無線通信で使用される材料・プロセス技術」

主催 化学工学会エレクトロニクス部会

日時 2019年12月10日(火) 13:00～17:30(受付開始12:30～)

会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 蔵前会館 ロイヤルブルーホール

協賛 電子SI連絡協議会(ESIC), 表面技術協会, エレクトロニクス実装学会(JIEP), 日本電子回路工業会(JPCA), スマートプロセス学会(MSTE), C-NET, よこはま高度実装技術コンソーシアム(YJC)

#### プログラム

1. 世界の5G市場最新動向

- ((株)情報通信総合研究所 岸田氏)
2. ミリ波応用製品の開発動向と高周波基板への要求条件 (富士通(株) 大橋氏)
  3. 5G及び次世代高周波無線通信に向けた低粗度・高密度が可能な銅箔表面処理技術のご紹介 (ナミックス(株) 佐藤氏)
  4. 高速伝送及び高周波通信用回路基板材料の開発動向 (パナソニック(株) 西野氏)
  5. 5G時代の高速高周波基板の製造及び設計について (沖プリンテッドサーキット(株) 飯長氏)
- 定員 100名。申込み順で、定員になり次第締め切ります。
- 参加費 当日受付にてお支払いください。領収書を発行します。
- ・部会個人会員・法人会員 3,000円
  - ・その他化学工学会会員及び協賛団体各会員

6,000円

- ・大学教員・研究員 2,000円(学生及び大学関係の部会員は無料)
- ・一般参加者 10,000円(同時に部会入会する場合は7,000円)

交流会 会費 3,000円

詳細 <http://www2.scej.org/elebukai/contents/04.html>

申込み方法 メールにて以下の内容を明記の上送信ください。

氏名, 勤務先・住所(所属部署まで), メールアドレス, 電話番号, 懇親会参加有無, 会員資格(上記参加費欄の区分を記載)

申込み・問い合わせ先

E-mail: [electro\\_div@chemeng.osakafu-u.ac.jp](mailto:electro_div@chemeng.osakafu-u.ac.jp)

## 地 域 C T



### 東 北 支 部

#### 第64回プロセス設計技術講演会・見学会

主催 化学工学会東北支部  
共催 福島化学工学懇話会

日時 2019年10月25日(金)

会場 アサヒビール(株)福島工場(福島県本宮市荒井字上前畑1, TEL: 0243-34-1170)

スケジュールや講演、集会場所などの詳細につきましては東北支部ホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)にて決定次第ご連絡します。

内容 アサヒビールの製造工程を見学するとともに、震災で大きな被害を受けた工場の復興に関する話題などを織り交ぜた講演、意見交換を行います。

参加費 主催・共催団体会員:無料, 非会員:1,000円, 学生:無料

懇親会費 4,500円

申込締切 2019年10月15日(金)

申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先(E-mail, TEL等), 懇親会の出欠を記入の上, E-mailまたはFAXにて下記連絡先までお申し込み下さい。

連絡先 福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学科 青木寿博講師  
TEL: 0246-46-0819 FAX: 0246-46-0825  
E-mail: [aoki@fukushima-nct.ac.jp](mailto:aoki@fukushima-nct.ac.jp)



### 東 海 支 部

#### 第2回東海若手合宿のご案内

第2回東海若手合宿は、「化学工学」に携わる「若手教員」「学生」「若手企業人」が集い、大学間や企業間を越えた若手ケミカルエンジニアの横断的な交流を通じて幅広く情報交換し、親睦を深め、将来に役立つネットワーク形成を目的としています。今回は、工場見学と大学教員による発表、学生のポスター発表を実施します。つきましては、ポスター発表者、本合宿の参加者を募集致します。化学工学会会員各位ならびに化学工学系の学生との交流を希望する企業からの多数の参加をお願い申し上げます。本合宿終了後に同じ会場で第8回三重コロキウムが別途開催されますので、そちらへの参加もお願い申し上げます。

主催 化学工学会東海支部 未来の化学工学を創る会

日時 2019年11月7日(木)～8日(金)

会場 JSR(株)四日市工場(〒510-8552 三重県四日市市川尻町100)

ホテルウェルネス鈴鹿路(〒510-1233 三重県三重郡菟野町大字菟野字江田8474-177 TEL: 059-392-2233  
<https://www.hotel-wellness.jp/suzukaji/>)

アクセス ホテルウェルネス鈴鹿路(<https://www.hotel-wellness.jp/suzukaji/access/>)  
電車の場合: 近鉄四日市駅から近鉄湯の山線にて湯の山温泉駅へ(約30分)。湯の山温泉駅から徒歩約10分。  
車の場合: 四日市インターから国道477号経由で約15分。菟野インターから約6分。

日程 1日目 11/7(木)

12:30 近鉄塩浜駅集合(工場見学希望者)

12:30～13:00 JSR四日市工場へ移動

13:00～16:00 工場見学(最大40人まで:大学教員と学生に限定)

16:00～17:00 ホテルウェルネス鈴鹿路へ移動

17:00～17:15 休憩・ポスター発表準備, 工場見学不参加者集合

17:15～17:45 講演(大学教員を予定)

17:45～19:00 ポスター発表

19:00～21:00 交流会

2日目 11/8(金)

9:00～9:30 ポスター賞表彰, 閉会の辞

9:30 現地解散

定員 40名(工場見学。ただし、それ以降の定員は調整中。)

ポスター発表 合宿に参加する学生は、なるべくポスター発表をお願いします。

ポスター使用言語は、原則、英語表記、サイズはA0とします。

参加費 正会員・法人会員 5,000円, 学生 3,000円(いずれも消費税込)

宿泊費 9,000円(消費税込, 交流会費, 朝食代含む)

参加申込方法 参加希望者はWebページ経由(<https://forms.gle/6zCXjHruLhqaGAhx8>)での申し込みをお願いします。

①氏名, ②所属機関(大学名・所属研究室・学年もしくは会社名・所属), ③連絡先(住所・電話番号・E-mail), ④工場見学の有無, ⑤宿泊の有無, ⑥ポスター発表の有無の入力をお願いいたします。

参加申込のお問い合わせは、以下の問い合わせ先までお願いいたします。

申込締切 2019年10月6日(日)

問い合わせ先・申込先 西田 哲(岐阜大学工学部)  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1

TEL: 058-293-2538

E-mail: [tokaiwakate@gmail.com](mailto:tokaiwakate@gmail.com) (☆は@に読み替えてご利用下さい。)

詳細および最新情報は東海若手合宿ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/tokaiwakate/2nd>

## 第8回三重コロキウム 「キャリア形成のための企業懇談会」

主催 化学工学会東海支部  
共催 未来の化学工学を創る会

日時 2019年11月8日(金)10:00～13:00  
会場 ホテルウエルネス鈴鹿路  
(〒510-1233 三重県三重郡菰野町大字菰野字江田8474-177 TEL:059-392-2233)  
アクセス  
電車の場合: 近鉄四日市駅から近鉄湯の山線にて湯の山温泉駅へ(約30分)。湯の山温泉駅から徒歩約10分。  
車の場合: 新名神高速道路 菰野インターから約6分。東名阪道 四日市インターから国道477号経由で約15分。

第8回三重コロキウムは、学生が複数の企業からの講師との交流を通し、視野を広げ、勉学、研究、就職活動への取り組みに役立つ場の提供を目的として行います。募集予定の学生は、主に2021年度4月採用を目指す大学院生を対象とします。企業の方には、仕事内容を紹介して頂くとともに、社会人としての心構えや仕事への姿勢、大学で学んだことがどのように生かされているか勉学の重要性についてお話し頂きます。つきましては、自社紹介希望企業および参加者を募集致します。学生との交流を希望する企業からの多数の参加をお願い申し上げます。

### スケジュール 11/8(金)

10:00 開会挨拶  
10:05～13:00 企業紹介(6～8社程度:講演時間5分+質疑応答5分:その後各企業紹介者と学生との座談会形式情報交換)  
13:00 閉会挨拶・現地解散(午後は自由行動:11月は御在所の紅葉シーズン)

### 定員 65名

参加費(消費税込) 正会員・法人会員:1,000円、学生(会員、会員外によらず):無料、会員外:3,000円

企業紹介出展料 法人会員企業(1社につき3名以内):30,000円(参加費込み)、会員外企業(1社につき3名以内):50,000円(参加費込み)

申込方法 下記ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

参加証をメールにてお送りいたします。参加証は、当日ご持参下さい。

申込締切 2019年10月31日

送金方法 現金書留または銀行振込または郵便振替

みずほ銀行 名古屋支店普通預金No. 1055521

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ッ  
公益社団法人化学工学会東海支部

郵便振替 名古屋00880-7-5640

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ッ  
公益社団法人化学工学会東海支部

問合せ先 西村 顕(三重大学大学院工学研究科 機械工学専攻)

TEL&FAX: 059-231-9747

E-mail: nisimura@mach.mie-u.ac.jp

## 第6回 初歩からの 化学工学数学演習講座 ～データ整理手法と ディープラーニングの基礎～

主催 (公社)化学工学会東海支部  
共催 (予定) 静岡化学工学懇話会、東海化学工業会、(公社)日本分析化学会中部支部、(公社)日本化学会東海支部、(一社)資源・素材学会、(公社)高分子学会東海支部、(一社)日本原子力学会中部支部、(一社)廃棄物資源循環学会、日本溶剤リサイクル工業会、日本機械学会東海支部、(一社)日本エネルギー学会、(一社)日本鉄鋼協会東海支部、(公社)化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会  
協賛 (予定) (公社)日本水環境学会、電気学会東海支部、粉体工学会、(公財)中部科学技術センター、電気化学会東海支部、有機合成化学協会東海支部、情報処理学会東海支部

化学工学会東海支部では、反応・分離・輸送・エネルギー・環境・材料などに関する講座を開設し、製造現場、研究・開発に関わる人材の育成を目指しています。本講座では「データ整理手法とディープラーニングの基礎」について実例を紹介しながらわかりやすく解説し、実験データやプロセスデータの整理・解析・推測のテクニックを習得することを目的とします。

データ整理・解析・予測には、統計手法を用いた数量化(統計解析、回帰分析)や数学モデルによるデータの2次加工、多変量解析などの数学的知識が必要不可欠です。また、最近ではディープラーニング(深層学習)によるデータマイニングという新しい手法も活用されるようになってきました。企業におかれましては、研究者のみならず生産管理や運転管理、運用計画に関わる方々のスキルアップの機会としてご利用いただければ幸いです。

日時 2019年11月15日(金)10:00～16:30  
会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)10階1008号室  
交通 (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩約2分  
<http://www.winc-aichi.jp/>

### プログラム

〈午前の部〉  
10:00～10:50 1. 数量化の基礎  
実測定した物理量をもとに統計解析や回帰分析をする際の基礎的事項を解説した後、市販ソフトウェアを使った実例(手順)を解説します。  
11:00～12:00 2. 多変量解析法入門  
物質、熱、運動量の移動現象や化学反応に関わるプロセスデータを解析するための数学モデル(2次データ加工)について解説したうえで、重回帰分析と次元解析のテクニックについて、市販ソフトウェアを使った実例を紹介いたします。  
12:00～13:00 昼休憩  
〈午後の部〉  
13:00～14:00 3. ディープラーニングの基礎  
ディープラーニング(深層学習)について基礎的事項を解説した後、プログラミング不要の機械学習(Amazon Machine Learning: AML)の機能について解説します。  
14:10～16:10 4. ディープラーニングの実例  
AMLを利用して、火力発電プロセスデータ为例に、そのデータ整理法や活用法について解説します。  
16:10～16:30 質疑応答

注) 筆記用具と関数機能付き電卓をご準備ください。  
注) 講義間の休憩時間は、講師への質問時間としてご利用いただけます。

講師 岐阜大学工学部 機械工学科 准教授 小林 信介(午前)

岐阜大学大学院工学研究科 環境エネルギーシステム専攻 教授 神原信志(午後)

定員 午前・午後の部いずれも30名(定員になり次第締切)

・企業向けの講座ですが、学生が受講されても構いません。ただし、定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。

参加費(資料代・消費税を含む)

	午前または午後の部のいずれか半日	1日参加
正会員	8,000円	10,000円
法人会員	10,000円	15,000円
会員外	20,000円	30,000円
学生	2,500円	5,000円

\* 共催・協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

後日、参加証をお送りいたします。参加証は、当日ご持参下さい。

申込期限 2019年11月8日(金)

送金方法 現金書留または銀行振込  
みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No. 1055521

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ッ  
「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ッ  
「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学生命・応用科学科 化学工学研究室内  
(公社)化学工学会東海支部  
TEL: 080-4525-3070  
<http://scej-tokai.org/>

## 第53回 化学工学の進歩講習会 「最新情報技術活用による プロセス産業スマート化 — AI, IoT, MI の基礎から 最前線まで —」

主催 化学工学会東海支部  
共催 (予定) 石油学会、東海化学工業会、日本化学会東海支部、日本機械学会東海支部、日本鉄鋼協会東海支部、分離技術会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本設備管理学会、システム制御情報学会

協賛 (予定) 中部科学技術センター、化学工学会SIS部会、化学工学会安全部会、化学工学会超臨界流体部会、化学工学会分離プロセス部会、化学工学会材料・界面部会、化学工学会環境部会、化学工学会化学装置材料部会、化学工学会粒子・流体プロセス部会、化学工学会熱工学部会、化学工学会反応工学部会、化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会、静岡化学工学懇話会、共晶会、健友会、計測自動制御学会、計測自動制御学会中部支部、ISPE日本本部、日本PDA製薬学会、製剤機械技術学会、電気学会東海支部、情報処理学会東海支部

日時 2019年12月3日(火)～4日(水)

**場所** 名古屋市工業研究所(名古屋市熱田区六番3-4-41)第1会議室  
**交通** 地下鉄名港線(金山から名古屋港行)六番町下車, ③番出口より徒歩1分

計算機の高速度・大容量化に加えて、膨大で多彩なデータを扱う情報技術の進展は目覚ましく、人間を超えるシンギュラリティーも近いと言われています。将棋やチェスなどのゲームの世界ではすでに人間を凌駕する人工知能が開発されていますが、プロセス産業においても情報技術の活用が始まっています。そこで、AI(Artificial Intelligence)、IoT(Internet of Things)、MI(Materials Informatics)の基礎から最先端の情報技術(統計的手法、ベイズ推定、ニューラルネット、機械学習等)および活用事例(分子設計や材料設計を含む製品開発、プラントの設計、運転、制御、ソフトセンサー、実験計画等)について、日本を代表する研究者や最先端でご活躍の技術者にわかりやすく解説していただく貴重な機会を設けました。各企業での業務スマート化に向けて、大いに貢献できる講習会です。

第1日目 12月3日(火)

1. AI・IoT技術の基礎から最前線まで～プロセス産業における活用に向けて～(10:05～10:55)  
(東京農工大学)山下善之氏
2. 知識とデータの統合活用による生産性向上の実現(11:05～11:55)  
(京都大学)加納 学氏
3. 医薬品業界におけるProcess Systems Engineeringの最新動向～連続生産/クロマトグラフィ/近赤外への展開～(12:05～12:55)  
(ファイザー・ファーマ)無敵幸二氏
4. 生成モデルによりデータの可視化・帰属分析・モデルの逆解析を同時に達成する方法および分子設計・材料設計への応用(13:55～14:45)  
(明治大学)金子弘昌氏
5. 結晶成長における機械学習活用(SiC溶液成長を例に)(14:55～15:45)  
(名古屋大学)宇治原徹氏
6. 期待されるイノベーションと社会実装(15:55～16:45)  
(アズビル)高井 努氏

第2日目 12月4日(水)

7. データサイエンス手法を用いた化学プロセスモデリング(9:30～10:20)  
(名古屋大学)川尻喜章氏
8. 医薬品連続生産プロセスにおけるPAT(10:30～11:20)  
(東京大学)船津公人氏
9. 三井化学でのソフトセンサー事例紹介～PSE143WS32「ソフトセンサー実装」での開発ツール活用～(11:30～12:20)  
(三井化学)大寶茂樹氏
10. 産業用IoT基盤の要件からクラウド実装とアプリケーション事例紹介(13:30～14:20)  
(横河電機)鳥越研児氏
11. プラントエンジニアにとってのサイバーセキュリティ(14:30～15:20)  
(名古屋工業大学)橋本芳宏氏
12. プロセス産業のエンジニアはスマート化の夢を見るか?(15:30～16:20)  
(東京農工大学)北島禎二氏

**定員** 100名(定員を超えた場合にはお断りすることがあります)

**配布資料** 各講演資料を配布します

**参加費(配布資料代・消費税を含む)**

化学工学会正会員:30,000円, 化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体(個人・法人)会員:35,000円, 化学工学会学生会員/共催・協賛団体学生会員:5,000円, 会員外:70,000円

**申込方法** 下記ホームページ「進歩講習会」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

後日、参加証をお送りいたします。参加証は当日ご持参下さい。

**申込期限** 2019年11月22日(金)

**送金方法** 現金書留、銀行振込または郵便振替(ゆうちょ銀行)

銀行振込:みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521 公益社団法人化学工学会東海支部  
郵便振替:名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部

**問合せ先** 化学工学会東海支部

<http://scej-tokai.org/>

## 第27回静岡フォーラム・第52回研究交流セミナー「持続可能社会に向けたCO<sub>2</sub>削減の推進」

**主催** 静岡化学工学懇話会, 化学工学会東海支部  
**後援** 静岡大学食品・生物産業創出拠点  
**協賛** 静岡大学産学連携協力会, 浜松新エネルギー研究会

**日時** 2019年12月6日(金)12:50～16:55

**場所** アクトシティ浜松  
第1部講演会: コンgressセンター 52-54 会議室  
第2部懇親会: オークラアクトシティホテル浜松45Fスカイバンケット  
〒430-7790 静岡県浜松市板屋町111-1  
<http://www.actcity.jp>

**プログラム**

第1部 講演会  
12:50～12:55 開会の挨拶  
12:55～13:40 講演1 相澤寛史氏(環境省地球環境局)  
13:40～14:25 講演2 室井高城氏(アイシーラボ)  
14:25～14:35 休憩  
14:35～15:20 講演3 中島田豊氏(広島大学)  
15:20～16:05 講演4 福原長寿氏(静岡大学)  
16:05～16:50 講演5 堤内 出氏(三菱ケミカル)  
16:50～16:55 閉会の辞  
第2部 懇親会  
17:15～19:15 オークラアクトシティホテル浜松45Fスカイバンケット  
なお、詳細は静岡化学工学懇話会のHPにも掲載いたします。

**参加費** 主催・協賛会員は3,000円(含要旨集代)、非会員は10,000円(含要旨集代)学生は無料(要旨集代は1,000円)

**懇親会** 参加費:未定

**参加申込締切** 2019年11月29日(金)

**申込方法** 氏名、所属、懇親会参加の有無、連絡先、所属団体名(主催団体、協賛団体、それ以外)などを記入し、静岡化学工学懇話会事務局(FAX:053-476-0095, E-mail:cess@cheme.eng.shizuoka.ac.jp)までお申込み下さい。静岡化学工学懇話会のHP(<http://cheme.eng.shizuoka.ac.jp/wordpress/cess/>)からも申込みができます。

## 関西支部

### セミナー「安全性と収益性を両立する次世代スマートプラント」～プロセス強化とIoT活用のスマート保安の観点から～

**主催** 化学工学会関西支部  
**協賛** 近畿化学協会, 日本化学会近畿支部, 有機合成化学協会関西支部ほか

**日時** 2019年11月20日(水)10:30～17:20

**会場** 大阪科学技術センター4階405号室(大阪市西区鞠本町1-8-4 TEL:06-6443-5324)  
(交通) OsakaMetro 四つ橋線「本町」駅下車, 25・28番出口より北へ徒歩約5分, うつぼ公園北詰め

**プログラム(質疑応答時間含む)**

1. [基調講演]企業競争力向上を目指したプロセス強化とIoT活用の取り組み(10:30～11:25)  
(カネカ)鷺見泰弘氏
  2. グリーンプロセス工学(GPE)におけるプロセス強化(PI)の展開(11:25～12:15)  
(東工大院物質理工)松本秀行氏
  3. 産業保安のスマート化について(13:30～14:20)  
(経済産業省 中部近畿産業保安監督部) 小西 努氏
  4. ～製造現場のDX～「ものづくり自律化システム」のご紹介(14:20～14:50)  
(アズビル)木村大作氏
  5. ガイセル式生産革新における安全性強化の取り組み(15:10～15:40)  
(ダイセル)近藤弘康氏
  6. 住友化学におけるスマートファクトリーの取り組み(15:40～16:10)  
(住友化学)大谷武弘氏
- 情報交換懇親会(ミキサー)(16:20～17:20) 於: 同センター地下1階B101号室

**参加申込締切** 定員(70名)になり次第締切

**参加費** 主催・協賛団体正会員19,000円, 主催・協賛団体法人会員23,000円, 学生会員3,000円, 大学・公設機関7,000円, 会員外学生5,000円, 会員外37,000円(何れもテキスト代、消費税込)

**参加申込方法** Webの参加申込フォームをご活用ください。または、標記行事名を題し、(1)受講者氏名、(2)勤務先・所属、(3)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、(4)会員資格、(5)送金方法(予定日)、(6)請求書の要否を明記のうえ、下記宛てにお申し込みください。参加費は銀行振込[りそな銀行御堂筋支店普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部 名義]をご利用ください。参加申込者には11月上旬にE-mailにて参加証を送付いたします。

**申込先** (公社)化学工学会関西支部  
〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階  
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685  
E-mail:apply@kansai-scej.org  
<https://www.kansai-scej.org/>

### マイクロプロセス最前線シリーズ～マイクロリアクター利用の実態～

**主催** 化学工学会関西支部  
**協賛** 近畿化学協会, 日本化学会近畿支部, 有機合成化学協会関西支部ほか

日時 2019年12月2日(月)10:00～18:00  
 会場 大阪科学技術センター 8階中ホール・小ホール(大阪市西区靱本町1-8-4)  
 〈交通〉OsakaMetro「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩5分、うつほ公園北詰

## 中国四国支部

### 2019年度セミナー 「化学産業におけるナノ材料の 社会実装への現状と将来展望」

主催 (公社)化学工学会 中国四国支部, 中国地区化学工学懇話会

**趣旨** 高分子ナノ・テクノロジーの分野では、1984年にフラーレンが発見され、1991年にはカーボンナノチューブが発見されて以降、2000年代には実用化レベルでの材料開発が行われてきました。物質の構造をナノレベルで制御することでマクロスケールとは異なる新機能・高機能を付与することを狙って材料、デバイスなどの分野では既に実用化が進んでいます。そして今日では、ナノ材料を工業規模で製造して利用した化学製品が上市され、今後、さらなる普及が見込まれるようになりました。本セミナーでは、ナノ材料の技術開発動向や製品開発の事例をご紹介します。工場生産における品質管理方法など事業化への課題解決の一助として、SDGs等の未来社会を見据えた高分子ナノ・テクノロジー分野に関する広範囲の分野からの技術概要をご紹介します。今後の展開について議論する場を提供致します。

日時 2019年11月29日(金)10:00～18:55  
 (10:00～16:50 講演会, 16:55～18:55 交流会)

場所 大竹商工会議所(〒739-0612 広島県大竹市油見3-18-11)

アクセス JR山陽本線大竹駅から徒歩7分

#### プログラム

主催者挨拶(10:00～10:05)

広島大学大学院工学研究科 教授 中井智司氏〔講演〕

1) (10:05～11:05) 技術研究組合と共同研究体ー多くの企業と産総研が連携する形ー

(国研)産業技術総合研究所 材料・化学領域 ナノ材料研究部門 副研究部門長 原 重樹氏  
 2) (11:05～11:55) 高压流体混練法を用いたポリマー中へのナノカーボン分散技術の開発

広島大学大学院工学研究科 准教授 木原伸一氏

〔11:55～13:00 昼食〕

3) (13:00～13:50) モスマイト型反射防止フィルム

「モスマイト」のご紹介

三菱ケミカル(株) 開発本部 広島研究所 機能材料Gr グループマネージャー 岡本英子氏  
 4) (13:50～14:40) 精密設計による機能性ポリオレフィンの開発と展開

三井化学(株) 研究開発本部 高分子材料研究所 主幹研究員 岡本勝彦氏

〔14:40～15:00 休憩〕

5) (15:00～15:30) 燃料電池用非白金カソード触媒「カーボンアロイ触媒(CAC)」の開発

帝人(株)マテリアル技術本部 ソリューション開発センター グループ長 豊開真之氏

6) (15:30～16:00) シリコンナノ粒子を用いた屈折率制御およびテラヘルツ波向け広帯域低損失反射防止膜への応用

帝人(株)マテリアル技術本部 ソリューション開発センター 添田淳史氏

7) (16:00～16:50) カーボンナノチューブによるイノベーションの連鎖が始まる

日本ゼオン(株) 特別経営技監 ゼオンナノテクノロジー(株) 代表取締役社長 荒川公平氏

セミナー閉会挨拶(16:50～16:55)

〔交流会〕16:55～18:55(大竹商工会議所内)

定員 100名

参加費(消費税込み)

	講演会	昼食(弁当)	交流会
懇話会会員, 化学工学会会員	5,000円	1,000円	3,000円
非会員	8,000円		

**申込方法** 参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、FAX、E-mail)、送金予定日、昼食(弁当)要/不要、交流会参加/不参加を明記し、電子メールまたはFAXでお申込み下さい。参加費のお支払いは、現金書留または銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金1058275中国地区化学工学懇話会)をご利用下さい。

**申込締切** 2019年11月1日(金)

**申込先・問合せ先** 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1

広島大学工学部化学工学講座内

中国地区化学工学懇話会事務局

TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494

E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/konwakai/>

#### プログラム

1. [招待講演] 機能性化学品の連続精密生産プロセス技術開発～フロー精密合成から連続精密生産へ～(10:00～11:00)

(産総研)甲村長利氏

2. 展示企業からのショートプレゼンテーション(11:00～11:30)

3. ポスターセッションおよび展示会(12:30～15:00)

〈大学におけるマイクロリアクター集中研紹介〉

大阪府立大学, 岡山大学, 京都大学  
 〈産官における成果もしくは現状の取り組みに関するポスター発表〉

味の素(株), (株)カネカ, 高砂香料工業(株), (国研)産業技術総合研究所ほか

〔企業展示〕

京セラ(株), (株)神戸製鋼所, (株)タクミナ, マックエンジニアリング(株)ほか

4. [基調講演] 低炭素・循環・デジタル社会での生産技術について考える(15:00～16:00)

(京大院工)前 一廣氏

5. ミキサー(交流会)兼ポスターセッションおよび展示会(16:00～18:00)

※ミキサー中もポスター発表, 展示会は継続します。

**参加費** 主催・協賛団体個人会員 20,000円, 主催・協賛団体法人会員 23,000円, 大学・公設機関 7,000円, 学生会員 3,000円, 会員外 37,000円, 会員外学生 5,000円(何れも消費税, 要旨代含)

**定員** 80名(定員になり次第締切)

**参加申込方法** ホームページ(<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=19296>)をご活用ください。または、標記タイトルを題記し、(1)氏名、(2)勤務先・所属、(3)連絡先(住所、郵便・電話番号)、(4)会員資格、(5)送金方法(送金予定日)、(6)請求書の要否を明記のうえ、下記宛にお申し込みください。なお、参加費は銀行振込「りそな銀行御堂筋支店普通預金No.0405228 公益社団法人化学工学会関西支部名義」をご利用ください。参加者には11月中旬頃に参加証を送付いたします。

**申込先** 公益社団法人化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: [apply@kansai-scej.org](mailto:apply@kansai-scej.org)

## 求人

### ☆名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻 先進化学工学システム講座教員(助教)の公募☆

募集人員：助教1名  
専門分野：生物化学工学，生物プロセス工学，マテリアル工学  
応募資格：・博士を有するか取得見込みの者  
・化学工学あるいはマテリアル工学の分野に精通している者  
・大学院及び学部における教育に熱意と責任感を持ち，協調性をもってあたれる人物  
応募締切：2019年10月23日(水)【必着】  
問合せ先：化学システム工学専攻 教授 井藤 彰  
TEL：052-789-3374 FAX：052-789-3374  
E-mail：ito.akira@material.nagoya-u.ac.jp  
URL：http://www.nagoya-u.ac.jp/employment/upload\_images/20190823\_engg1.pdf

### ☆茨城大学大学院理工学研究科工学野・物質科学工学領域 助教の公募☆

募集人員：助教1名  
専門分野：固体化学を基盤とする無機・物理化学系研究分野  
応募資格：博士の学位，または外国のPh.D.を有し，または着任までに取得見込みであり，  
大学院及び学部学生の教育に熱意を持って取り組める方  
応募締切：2019年10月28日(月)【必着】  
問合せ先：物質科学工学領域長(教授) 池田輝之  
TEL：0294-38-5066 FAX：0294-38-5078  
E-mail：teruyuki.ikeda.hy@vc.ibaraki.ac.jp  
URL：https://www.ibaraki.ac.jp/employment/index.html